

**2015年7月5日 15-19時**

**第54回 SED 実践セミナー(セデーショントレーニングコース)**

**@大阪医科大学 MSSC 報告書**

**①開催形態**

**開催施設責任者：林 道廣(大阪医科大学附属病院医療技能シミュレーション室)**

**開催協力部門：医療安全管理室、医療プロフェッショナル支援室**

**開催講座責任者：南敏明(大阪医科大学麻酔科学教室)**

**②インストラクター**

**コースコーディネーター**

**駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC**

**インストラクター**

**駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC**

**羽場政法 日高総合病院麻酔科**

**安宅一晃 奈良県立医科大学医療安全管理部**

**山本彰美 大阪中之島デンタルクリニック**

**吉田朱里 和歌山県立医科大学麻酔科**

**助永親彦**

**アシスタント**

**三原良介 大阪医科大学麻酔科**

**③参加受講生 24名**

**学内 2名**

**麻酔科 2名**

**学外 22名**

**福岡県済生会福岡総合病院**

**津田沼中央総合病院**

**大阪府立中河内救命救急センター救急診療科**

**津田沼中央総合病院**

**香川県立中央病院**

**県立宮崎病院**

**Ms dental office**

**社会保険京都病院**

埼玉医科大学総合医療センター

博愛会病院

横浜市立大学附属市民総合医療センター

横浜市立大学市民総合医療センター

横浜市立大学附属センター病院

亀田総合病院

倉敷中央病院

近畿大学医学部奈良病院 内視鏡部

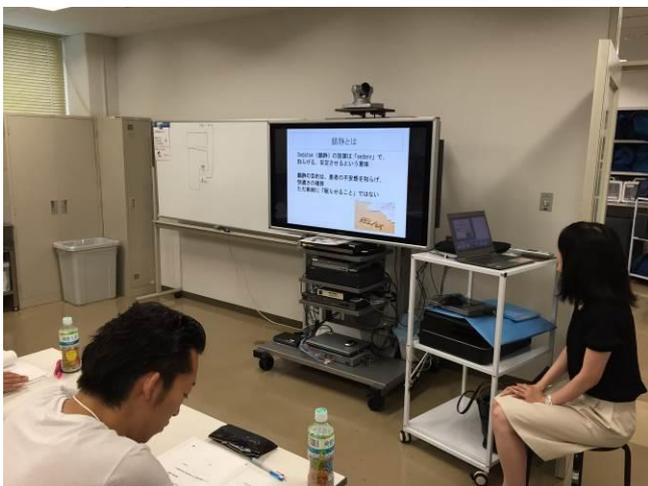
新田歯科クリニック×5名

紀南病院麻酔科

#### ④コース内容と学習目標

	学習目標
講義	米国麻酔科学会「非麻酔科医のための鎮静鎮痛ガイドライン」の解説を重視  受講前にテキストを送付し、事前学習の推奨
カードを用いた  シミュレーション	鎮静薬と鎮痛薬の分類、相互作用の把握
マネキンを用いた  緊急時気道管理ハンズオン	呼吸状態の評価を意識づけ(呼吸パターン、回数、SpO <sub>2</sub> 等)、酸素投与方法、基本的気道管理(バッグバルブマスク、ラリンジアルマスクを始めとした声門上器具)の習得
シナリオディスカッション	術前リスク把握、準備、必要なモニタリング、投与時の評価等、緊急時対応を質問し、知識の再確認や整理
シミュレーション環境を用いた  シナリオトレーニング	臨床での実践対応に関してシミュレーターを用いて習得

## ⑤開催風景 講義



## 気道管理ハンズオン

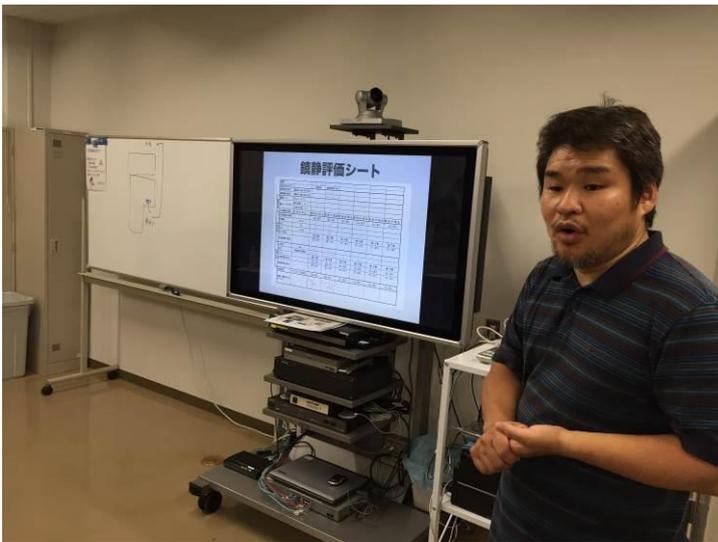


カードシミュレーション

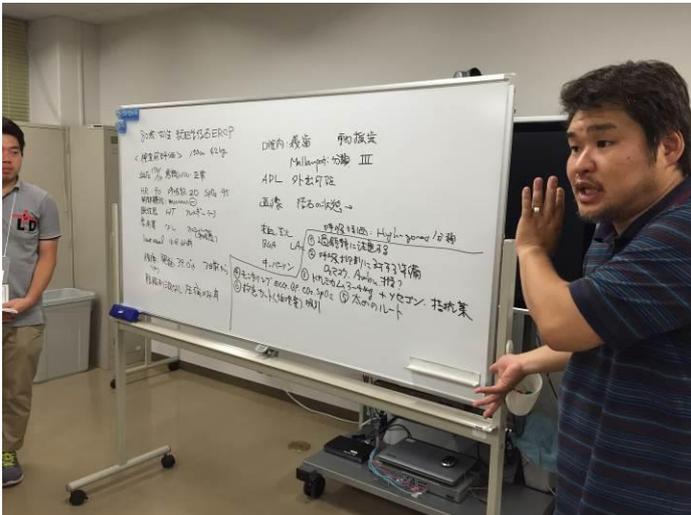




鎮静度評価



## 鎮静準備・危機管理に関するディスカッション



安宅一晃鎮静トレーニングコース代表世話人(奈良県立医科大学医療安全管理部教授)による総括



## 長谷川剛先生（日本医療機能評価機構・患者安全推進協議会の検査・処置・手術安全部会長）によるコメント



## 全体集合写真



### ⑥日本医療機能評価機構・患者安全推進協議会の訪問

今回のコースは日本医療機能評価機構・患者安全推進協議会の検査・処置・手術安全部会の長谷川剛部会長ら6名の訪問を受け、高い評価を受けた。今後、SED実践セミナーの内容をメディカルスタッフ全体に対する鎮静安全管理向上に生かしていきたいとのことであり、全面的に協力すると回答した。

### ⑦今後の取り組み

今回は、鎮静深度評価をシミュレーターと模擬患者を用いて行った。

次回の学内開催は2015年12月19日の第5回北大阪シミュレーションセミナーの開催を予定している。